

編集後記

二足歩行は人類の特徴とされていますが、人類が二足歩行するようになった目的の一つとして、「手を自由にする」ことが挙げられています。これに関しては異論もあるようですが、類人猿とは異なり、親指と他の指との長さのバランスが良いという構造は、人類の手が器用に細かいことを扱うことを可能にしており、手(上肢)が自由になったことによって物を掴んだり、触れたり、様々な道具を使用したり、石を投げたり棒を振り回したりというような攻撃ができるようになったとされています。このような手の進化が人類の発展に大きく寄与したことは疑いありません。ダーウィンと同時代に活躍したスコットランドの外科医で比較解剖学者だったチャールズ・ベルは、手の解剖に関する詳細な書物を発表しています。この中でベルは「われわれは人間の手に道具としてのあらゆる仕上りの完成を見る」と述べていますが、たしかに手は完成した精緻な道具です。

「目は口ほどにものを言う」という諺があります。広辞苑によれば「情をこめた目つきは、口で話す以上に強く相手の心を捉える」という意味だそうです。実は手の表情も目に負けず劣らず多彩です。手を使ったジェスチャーやサイン言語は、人間同士のコミュニケーションを豊かにし、相手との関係性を深める手段として機能しています。例えば人差し指を立てて口元を持っていく動作によって「静かにして!」というサ

インを送ることができますし、手のしぐさによって嘘がわかる、というようなことを述べた心理学の書籍はたくさんあります。ハンドモデル（手タレント）と呼ばれる方々は手のしぐさによって多くのメッセージを見る人に伝えることができます。このような非言語的なコミュニケーションは、脳の言語領域とも関連しており、手の動きが脳内での情報処理に大きな影響を与えることも知られています。有名なペンフィールドのホムンクルスの図の運動野や感覚野において、手の占める割合が大きくなっているのはそのためかもしれません。

このように重要な役割を果たしている手ですが、高齢になるとその機能に様々な不具合が出てくるのが知られています。本号の特集は山本美知郎先生による「超高齢社会における手外科疾患の治療」です。高齢者の手の機能は生活の質に直結し、痛みや不自由さは食事や着替え、趣味などの基本的な活動に大きな影響を及ぼします。そのため、手の健康を維持することは身体的健康の領域を超え、精神的健康や社会的コミュニケーションにも深く関与しています。この特集号を通じて、手の健康管理の重要性を改めて確認し、適切なケアや治療によって高齢者の生活の質をどのように向上させるかを考えるきっかけになれば幸いです。

(田中 栄)

「整形・災害外科」第67巻 第12号 (11月号) 2024年11月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 2,970 円 (本体 2,700 円 + 税 10%) 年間購読料金 定価 45,980 円 (本体 41,800 円 + 税 10%) [年間13冊 (臨時増刊号, 増大号を含む) の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036
--	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。